

市長と語ろうタウンミーティング開催結果  
(会議録)

団体等の 名 称	社商店連合会
開催日時	平成29年7月3日(月) 14時55分～16時00分
開催場所	ラポートやしろ 2階 研修室
意見 交換者	<p><b>【参加者】</b></p> <p>社商店連合会</p> <p>会長 小紫 吉猛 (キッズクラブ キヌヤ)</p> <p>理事 吉田 伊佐見 (有ぶんぐよしだ)</p> <p>〃 植村 俊 (丹波屋)</p> <p>〃 小林 吉人 (株小林石油)</p> <p>〃 三木 政士 (三木徳商店)</p> <p>会員 山本 博敏 (株やま正)</p> <p>〃 福田 民生 (福寿堂)</p> <p>〃 植田 真由子 (たんぽぽ法務事務所)</p> <p>〃 藤井 省也 (一富士商店)</p> <p>〃 小紫 泰良 (ファッションハウス キヌヤ)</p> <p>〃 藤野 周二 (藤野精肉店)</p> <p>事務局 黒崎みどり</p>
	<p><b>【市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長 安田 正義</li> <li>・地域創造部長 中村 隆文</li> <li>・地域創造部まち未来課長 小林 勝成</li> <li>・地域創造部商工観光課長 田中 孝明</li> <li>・まち・農整備部長 阿江 孝仁</li> <li>・まち・農整備部地域整備課長 大橋 勝彰 (事務局)</li> <li>・協働部長 時本 敏行</li> <li>・協働部企画協働課長 長谷川 茂</li> <li>・協働部企画協働課主幹 宮崎奈都子</li> </ul>

◆意見交換のテーマ：

加東市人口 40,310 人（平成 27 年国勢調査結果）のうち 3,000 人が住む社地区、その社地区の中心である社商店街を活気づけ、人が行きかう活気のある場所にする。

社商店連合会の提案・要望事項	市の考えまたは対応
<p><b>【空家問題】</b> 新しく店を出したいと思っている人がいても、今、商店街にある空物件は下水設備が行き届いていないものがある。補助事業などを考えてほしい。</p>	<p>ご要望の物件は、下水道設備の宅内工事のみが必要な状況です。 戸建て住宅の空家であれば、次欄の助成制度を活用できます。</p>
<p><b>【空家問題】</b> 市が、社商店街空店舗状況を把握し、若くてやる気のある事業主を招き優遇する措置を考えてほしい。</p>	<p>市の空家バンクに登録された物件で、空家状態になってから 6 箇月以上経過した戸建て住宅の空家を改造し、店舗として活用する場合は、補助対象経費に 2 分の 1 を乗じて得た額で、最高 100 万円を助成する制度が利用できます。また、移転に要する費用に対し、最高で 10 万円を助成します。 戸建て住宅の空家とは、住居部分の床面積が 2 分の 1 以上占める建物です。</p> <p>市では、地域経済活性化のため、国から産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画認定を受け、地域の創業を促進しています。具体的な支援策としては、市商工会に依頼し創業塾を年 2 回開催しているほか、創業に係る各種セミナーも開催しています。 加えて、創業後 3 年未満で、市商工会が主催する創業塾を受講し、商工会が推薦する者が、販路開拓に取り組むための経費について、補助率 3 分の 2 で 50 万円を限度に補助する制度を、平成 28 年 4 月に新設しました。</p>
<p><b>【空家問題】</b> 子どもの通学路に面する空家で、倒壊の恐れがあるものがあり、危険である。市で調査し、危険と判断すれば、撤去する方向に進めてほしい。</p>	<p>要望の物件は、平成 29 年 6 月 21 日開催の市長まちめぐりタウンミーティングで地域の区長さんらと確認しています。</p>
<p><b>【商店街の活性化】</b> プレミアム商品券について、商店連合会においても、一昨年に行った時と、昨年の売上が格段に違う。日頃来ない市民が来店され、消費活性化の一助になっていた。大型店舗だけではなく、中小店舗の売上に</p>	<p>平成 27 年度に実施したプレミアム商品券事業は、個人消費の冷え込みや地方経済の景気の腰折れを防ぎ、地方経済の好循環を拡大するための交付金を活用し実施したものであり、市内における消費喚起と生活支援の両面に直接効果を生み出したことで、一定の効果があつたものと認識</p>

<p>も貢献するので、是非、商店街活性化のためもう一度、行ってほしい。</p>	<p>しています。</p> <p>事業終了後に実施した商店等への調査結果を見ると、約半数の商店等が売上に対する効果があったとの回答にもかかわらず、新規顧客獲得のためのセール等を行った店舗は、全体の約15%にとどまっています。</p> <p>このような調査結果を見る限り、地元商店等の活性化の取組なしに事業だけ実施しても、活性化につながるとは考えておらず、現時点でもう一度行うことは考えていません。</p>
<p><b>【商店街の活性化】</b> 進行中のバスターミナルの件、商店街にも利点があるように設置してほしい。</p>	<p>加東市活性化ための重要な拠点整備に位置付けていますので、市民の意見なども踏まえ、行政だけでなく関係者が知恵を出し合うことが必要だと考えています。</p>
<p><b>【商店街の活性化】</b> 加東市を盛り上げる仕掛けづくり 加東ブランド(山田錦など)とタイアップし、加東市を前面に出す。</p>	<p>加東市の魅力を発信するため、年間を通じ様々なイベントを開催するほか、市外で行われるイベント等にも積極的に参加し加東伝の助とともにPRに努めているところです。その際には、伝の助グッズや日本酒、鴨川清水など市の特産品の紹介や販売も行っています。しかしながら、近隣他市に比べ食べ物や商工業製品で加東市といえば「これ」と誰もが認める品のインパクトが弱く、新たな特産品の開発も含め、検討しているところです。</p> <p>商店連合会の皆さまも加東市を盛り上げるために新製品の開発等に取り組んでいただきたいと考えているところであり、積極的なご意見をお聞かせいただければ市としても観光協会等と連携し、できる限りの支援をしていきたいと考えています。</p>
<p><b>【商店街の活性化】</b> 赤穂義士祭などの行事は、現状ではこれ以上盛り上げられない。盛り上がると人が多くなり車を置く駐車場がないので、現状以上には広められない。 したがって、観音寺の駐車場を拡張してほしい。それにより赤穂義士祭のPRも積極的に出来る上、現在、社小学校でのイベント時に困っている駐車場問題も少しは解消するのではないかと。</p>	<p>観音寺は加東遺産の一つで、境内にある赤穂義士菩提所には浅野内匠頭の石碑を中心に47士の石碑がこれを取り巻く形でまつられており、毎年12月14日の義士祭には多くの参拝者でにぎわいますが、ご指摘のとおり専用の駐車場がありません。義士祭には毎年約1000人の来場者がありますが、剣道大会や駅伝大会に参加する児童・生徒を除くと約500人で、法要の時間帯には境内に150人ほどの方がお越しになります。</p> <p>現状では、参拝者のほとんどが地元社小学校区の方々が自転車や徒歩で参拝される方も多く、駐車場不足のために周辺が混雑する状況にまで至っておりませんが、観音寺を魅力ある観光資源として市内外から多くの方々に訪れて</p>

いただくためには駐車場整備が課題の一つであると認識しています。しかし、安易に用地を取得できるものではなく、費用対効果を踏まえて、舵を切る必要があります。

また、地元の家原地区では、観音寺の庫裏や塀の一部を解体して整備することも検討されていると伺っておりますので、その際に駐車スペースの確保も含めて整備できないか協議したいと考えています。

**【その他の意見、提言、要望等】**

- 名ばかり商店街であったが、ここ3年で16店舗増加し、55件となった。
- 今回『やしろぶらりお散歩マップ』を作成するにあたり、社の住民でありながら忘れていたり、知らなかった財産（観音寺には日本で3か所だけの赤穂義士の墓、持宝院の弘法大師像、明治館の鬼瓦、佐保神社）を見直す事が出来た。今後もすばらしい街『社』をPRしていきたい。
- 福祉タクシー券の行き先データを活用できると思う。
- 社市街地には国・県の出先があり、公共の建物を集約し、バスターミナルを整備すれば、商店街にも波及効果があると思う。